



# くじ 市議会だより

第31号

2013年  
(平成25年)  
5月1日発行



— ちょっぴり緊張気味な宇部小学校の新入生たち —

主な  
内容

- 市議会を読む 3月定例会 ..... 2～3
- 委員会の審査から ..... 4～6
- 一般質問・各会派の関連質問 ..... 7～13
- 意見書／傍聴席からひとこと ..... 14

# 過去最大の予算編成

## 震災からの復旧・復興を最優先に

第10回市議会3月定例会は、2月22日から3月18日までの25日間の会期で開かれました。本定例会では、山内隆文市長が施政方針を、鹿糠敏文教育委員長が教育行政方針を述べ、当初予算は予算特別委員会を設置して審査しました。

一般質問では、各会派を代表して5人、個人で2人の議員が市政の諸課題について質疑を交わしました。

過去最大の予算編成となった平成25年度一般会計当初予算など35件の市長提出議案と3件の議員発議案について審議し、すべて原案のとおり可決、同意しました。

### 当初予算

平成25年度一般会計、各特別会計及び水道事業会計の当初予算9件は、原案のとおり可決しました。

#### ●平成25年度一般会計予算

一般会計当初予算は、歳入歳出の予算総額をそれぞれ251億3360万円とし、予算規模は前年度の当初予算と比較し31億6060万円、14・4%の増となりました。

#### ●平成25年度土地取得事業特

律の施行に伴い、関係条例について所要の整理をしようとするものです。

のです。

#### ●新型インフルエンザ等対策本部条例

●障害者自立支援条例の一部を改正する条例

地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行による障害者自立支援法の一部改正に伴い、所要の整理をするとともに、久慈市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数を改めようとするも

新型インフルエンザ等対策特別措置法第37条において準用する同法第26条の規定に基づき、久慈市新型インフルエンザ等対策本部に関し必要な事項を定めようとするものです。

#### ●農業施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例

経営体育成基盤整備事業の実施に伴い、所要の改正をし

ようとするものです。

#### ●準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

地域主権改革一括法の施行による河川法の一部改正に伴い、準用河川に係る河川管理施設又は許可を受けて設置される工作物のうち、堤防その他の主要なものの構造について河川管理上必要とされる一般的な技術的基準を定めようとするものです。

### 補正予算

一般会計など12件の補正予算は、原案のとおり可決しました。

#### ●平成24年度一般会計補正予算(第6号)

今回の歳入歳出予算の補正は、既定の予算額に歳入歳出それぞれ1865万4千円を減額し、補正後の予算総額を301億2838万6千円と

### 条例等

条例の制定などの議案15件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

#### ●国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律

平成25年度一般会計予算に対する

### 討論

#### 反対 小野寺勝也 議員

いわて森のトレー生産協同組合の債権回収の対応を明らかにすべき。指名入札制度から条件付一般競争入札制度への改善を。岩手北部広域環境組合の問題点も解明されていない。国保税の負担が重過ぎるので、政府に対し改善の要請を。後期高齢者医療制度はお年寄り差別である。以上の点から反対する。

#### 賛成 藤島文男 議員

市税、地方交付税などが伸びない現実で、震災からの復旧・復興を最優先と考え、従前にも増して選択と集中、効果の上がる限られた財源を適切に配分した新年度予算と想う。特に、震災関連、社会基

### 人事

●教育委員会の委員に鹿糠敏文さん（小久慈町）を任命することに同意しました。

●人権擁護委員候補者に間加壽子さん（天神堂）、日當光男さん（田屋町）を推薦することに同意しました。

### 議員発議案

●政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものです。

●消費税増税に反対する意見書の提出について

●環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加に反対する意見書の提出について

詳しくは、最終ページの「意見書」をご覧ください。

## 議案等審議結果

### 第10回市議会3月定例会

#### 【当初予算】

- 平成25年度久慈市一般会計予算
- 平成25年度久慈市土地取得事業特別会計予算
- 平成25年度久慈市国民健康保険特別会計予算
- 平成25年度久慈市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成25年度久慈市介護サービス事業特別会計予算
- 平成25年度久慈市魚市場事業特別会計予算
- 平成25年度久慈市漁業集落排水事業特別会計予算
- 平成25年度久慈市公共下水道事業特別会計予算
- 平成25年度久慈市水道事業会計予算

原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

#### 【補正予算】

- 平成24年度久慈市一般会計補正予算（第6号）
- 平成24年度久慈市土地取得事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成24年度久慈市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 平成24年度久慈市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 平成24年度久慈市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成24年度久慈市魚市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成24年度久慈市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
- 平成24年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成24年度久慈市水道事業会計補正予算（第1号）
- 平成24年度久慈市一般会計補正予算（第7号）
- 平成24年度久慈市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成25年度久慈市一般会計補正予算（第1号）

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

#### 【条例等】

- 国有林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国有林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 障害者自立支援条例の一部を改正する条例
- 新型インフルエンザ等対策本部条例
- 農業施設整備事業分担金徴収条例の一部を改正する条例
- 準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
- 道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 法定外公共物管理条例の一部を改正する条例
- 下水道条例の一部を改正する条例
- 久慈市デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて
- 過疎地域とみなされる区域に係る久慈市過疎地域自立促進計画の一部変更に関し議決を求めることについて
- 市道路線の変更に関し議決を求めることについて(2件)

原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致
原案可決＝全会一致

#### 【人事】

- 教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて
- 人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて(2件)

同意＝全会一致
同意＝全会一致

#### 【議員発議】

- 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 消費税増税に反対する意見書の提出について
- 環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉参加に反対する意見書の提出について

原案可決＝全会一致
原案可決＝賛成多数
原案可決＝賛成多数

## ひとくちメモ

### 【討論とは】

討論とは、議員が議題の表決の前に、議題となっている議案などに対して賛成か反対かの意見を表明することです。

討論の目的は、単に賛否の意見を明らかにするだけではなく、まだ賛否を決定していない議員に対し、自己の意見に賛同させるとともに、意見の異なる議員を自己の意見に同調させることに意義があります。

総務、教育民生、産業建設の各常任委員会を  
3月8日に、予算特別委員会を3月12日～14日  
に開き審査しました。

総務

総務委員会に付託された議案2件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●久慈市デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めることについて

平成24年6月12日に契約を締結した「久慈市デジタル防災行政無線施設・設備災害復旧工事」の請負契約について、当初の請負金額11億3715万円から、4173万8550円を減額し、10億9541万1450円とするため、請負変更契約を締結しようとするものです。

工事の変更内容は遠隔制御局について、久慈市漁業協同組合生産部用として設置予定の3施設分を減らし当初の9局を6局とするものです。  
【問】3つの遠隔制御局を設置しないことにより、情報伝達に支障はないか。

【答】3つの地区については、防災センターや市から防災情報発信するため特に不都合はない。

【問】沖に出て操業している船や漁業従事者への防災情報の伝達方法は。

【答】防災行政無線設備は海岸部にいる釣り人などに聞こえるよう新・増設したものであり、沖に出ている船については、漁業協同組合などの船舶無線での対応と考えている。そのほか、工事の発注時における地元業者への配慮、戸別受信機の購入に係る助成制度などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案2件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介します。

●障害者自立支援条例の一部を改正する条例

「障害者自立支援法」の一部が改正されることに伴い、所要の整理をしようとするものであり、条例の題名を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例」に改め、また、久慈市障害者介護給付費等支給審査会の委員の定数を「10人以内」に改めようとするものです。

現在、本審査会は委員5人の合議体で審査しているが、障害者手帳所持者の増加及びサービス利用対象者に難病患者等が含まれることになり審査対象者の増加が見込まれるため、将来的に委員5人ずつによる2つの合議体を設置できる体制にするためです。

【問】審査会の委員の構成は。

【答】現在の委員は、医師1名、社会福祉士1名、精神保健福祉士1名、作業療法士1名、特別支援学校の教諭1名の計5名で、今後新たな5名についても同様の職の区分となる。

【問】今後の新たな障害福祉施策は。

【答】共同生活介護（ケアホーム）が共同生活援助（グループホーム）へ一元化されることにより、グループホームで日常生活上の相談に加えて、入浴、食事の介護などの日常生活上の援助が提供できるようになる。

そのほか、市内における難病患者の状況などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業建設

産業建設委員会に付託された議案7件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介いたします。

●市道路線の変更に関し議決を求めることについて

久慈市立久慈小学校の改築に伴い、「久慈小通り線」を切り替えたことにより、「久慈小通り線」の終点と「田面通

り線」の起点を変更しようとするものです。

【問】現体育館脇部分の今後の道路整備の見直しは。

【答】旧校舎を取り壊した後、体育館を新設し、そのあとに現体育館を取り壊す。その後市道工事を、道路幅員等については同等規格で整備していきたい。

【問】市道整備、小学校建設に関わっての排水対策は。

【答】小学校敷地の排水計画は、開発行為の要件でもあるため、市道整備と併せて排水工事を行っている。

そのほか、災害時における避難誘導路について、児童生徒に対する交通安全対策などについて質疑、答弁が交わされ、採決の結果、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。



久慈小通り線を視察する産業建設委員会

予算特別



小柳予算特別委員長

予算特別委員会（小柳正人委員長、議長を除く全議員で構成）に付託された平成25年度一般会計予算、土地取得事業など7件の特別会計予算及び水道事業会計予算について審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

●平成25年度一般会計当初予算

予算の総額は、251億3360万円であり、予算規模は前年度当初予算額と比較して31億6060万円、14.4%の増額となっています。

主な質疑

【問】秋まつりに市民が総参加できる体制、組織づくりが大事であると考えるが。

【答】市民総参加の機運をさ

らに高め、地域で山車等で参加したい意向があれば、それ相応の支援をしなければならぬと考えている。

【問】発電施設誘致事業の内容は。

【答】市の復興計画に掲げる大規模な電力供給拠点の形成を目指し、用地の確保に取り組みうとするものである。

具体的には、市が大規模太陽光発電の導入用地として久慈地区拠点工業団地の未造成地を取得し、発電事業者に貸し付けることにより取得費を回収しようとするもの。

【問】ラジオマップの作成・周知は。

【答】NHKで岩手県のラジオマップを作成しており、現在は公民館や各支所等に配布しているが、今後の周知については検討していきたい。

【問】移住定住促進事業の現状、実績、今後の見込みは。

【答】現状は首都圏で開催される、ふるさと回帰フェア等への参加や移住定住PRパンフレットなどを作成している実績としては、市で実施している空き家バンク制度により4年間で4家族12人の方が移

住している。今後とも制度等をPRしながら移住定住対策を推進していきたい。

【問】緊急通報システムの設置見直しは。

【答】現在設置台数は282台であり、平成25年度においても希望者には設置できる見通しである。

【問】ごみ集積場整備事業費の補助金とはどのようなものか。

【答】ごみステーションの設置に関する補助金である。経費の3分の1以内で、1施設あたり3万円を限度として補助するものである。

【問】久慈市被災者健康づくりサポート事業の概要は。

【答】東日本大震災の被害を受けた被災者を対象に、健康状態や健康障害を把握するため、被災者の全戸訪問及びフォロー活動や被災地区においてサロン活動を行う。

【問】津波避難所の規模は。

【答】1次、2次、長期避難と段階に分けて検討している。原則徒歩で、できるだけ遠く、高く避難することを基本とし、3・11の経験を踏まえて、50人程度、200平米の施設を

想定し設計に入っている。

【問】中心市街地の整備調査とはどのような調査か。

【答】駅前を中心とした空間整備等についての調査であり、内容としては建物や土地等の調査を実施していく。



現在の久慈駅前付近の風景

【問】タブレットなどと連動した教育の考えは。

【答】まだタブレット型の導入には至っていない。今後の研究課題と捉えており、機種等見据えて検討したい。

【問】学校給食でのアレルギーによる事故報道があるが、市の対応は。

【答】家庭へのアンケートによりどのようなアレルギーか把握し、対象生徒の保護者と1カ月の献立表をチェックし対応している。今後対応について体制づくりを進めたい。

平成25年度

251億3,360万円を当初予算に計上

～対前年度比14.4%の増～

# 市道整備について住民説明を

市長—説明会を行う時期を検討したい

**【問】** 門前源道2号線の道路の都市計画整備を進めるにあたり、地権者からの理解を得るための説明会を開催すべきと思うが。

**【答】** この道路の整備幅は現在の病院前道路の幅と同じか。

**【問】** 事業計画決定の際に地域説明会、縦覧を行っている。その後、年月がかなり経っている。どの時点で説明会を行うかを検討する。この道路は、市街地東側の環状道路網を形成する路線であり、久慈川河川堤防のかさ上げに伴い、湊橋の架け替えが計画されていることから、湊橋から県立久慈病院までが連結されることにより、円滑な交通及び防災機能を有する重要度の高い路線と認識している。

今後は、湊橋の架け替え及び広美町海岸線整備の進捗状況を勘案しながら検討し、現在の道路幅員16mをもって計画を進めていく。

**【問】** JR八戸線陸中夏井駅から久慈駅間の6つの踏切で、源道・旭町・大川目踏切の3カ所は、道路の幅が狭いため

車両が交差できず、交通渋滞が起きやすい危険な状況がたびたびある。早急に踏切の幅整備が必要であり、早期実現に向け要望すべきでは。

**【答】** 大川目踏切については、今年度踏切の前後に退避場所を設置し、通行の利便を図る。旭町・源道踏切の前後の市道については、すでに改良済みであるため、踏切は前後の道路幅よりも狭くなっており、通行しにくい状況となっており、と認識している。

現在、踏切の幅に当たり、管理者であるJR東日本株式会社と復興避難道路の整備について、第2新田踏切及び久慈街道踏切の歩道設置について協議を進めているところである。これらの進捗を見据えながら、さらに協議を進めてまいりたい。

**【問】** 耕作放棄地の増加や農地の宅地化が進んでいるなか、農業用幹線水路は、雨水排水路、地域の社会資本として重

要な役割を担っている。寺里から湊町までの幹線水路の老朽化による改修工事が行われると聞か、国・県・市の負担割合は。

**【答】** 県営ため池等整備事業の農業用幹線水路整備事業負担率は、国55%、県30%、市15%である。

実施中の久慈川幹線用水路の整備は、延長1173mを平成26年度完了予定で進めている。県では、平成24年度から見直しを行い、整備延長を拡大する予定と伺っている。

**【その他の質問項目】** 市役所駐車場について ほか



大川目踏切の退避場所

一般質問は、3月5日・6日の2日間行われ、各会派を代表して、中塚佳男、大沢俊光、下川原光昭、小柳正人、小野寺勝也の各議員が代表質問を、山口健一、梶谷武由の各議員が個人質問を行いました。また、各会派では関連質問を行いました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

## 各会派の関連質問

## 新政会

◆上山 昭彦 議員

青少年の意見も市政に反映を  
**【問】** 中学校リーダー交流会の復興まちづくり子ども会議で提言があったように、次代を担う青少年の発想をこれらのまちづくりに取り入れて

# 東日本大震災復興基金事業 8事業 7582万6千円を計上

東日本大震災復興基金による事業は次のとおりです。

- 災害対策事業（地域防災計画作成業務等） 2363万1千円
- 自主防災組織資機材整備費補助金（自主防災組織の資機材整備費や活動費を補助） 200万円
- 漁業集落防災機能強化事業（東日本大震災で集団移転に参加する被災者の支援） 234万円
- 住宅用太陽光発電システム導入促進費補助費（住宅用太陽光発電システム設置経費に対する補助、1kw当たり5万円、20万円限度） 500万円
- 医療施設用発電機等購入助成事業（医療施設が購入する発電機等購入助成、1/3補助、25万円限度） 250万円
- 介護サービス施設用発電機

## 一般会計・各特別会計・水道事業会計予算集計表

(△はマイナスを示す)

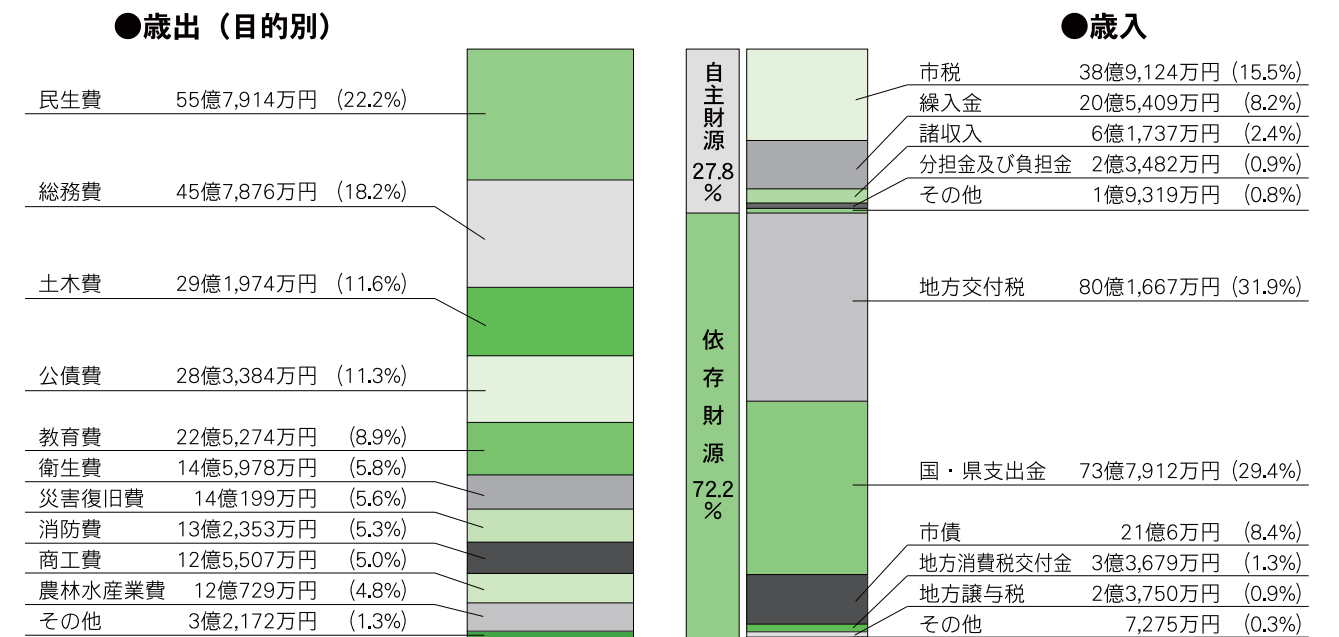
区分	25年度	24年度	伸率	
一般会計	251億3,360万円	219億7,300万円	14.4%	
土地取得事業	2,081万円	2,234万円	△6.8%	
国保（事業勘定）	49億5,806万円	45億1,305万円	9.9%	
国保（直診勘定）	2億9,791万円	3億1,345万円	△5.0%	
後期高齢者医療	2億6,372万円	2億5,400万円	3.8%	
介護サービス事業	9,040万円	9,633万円	△6.2%	
魚市場事業	3,708万円	2,720万円	36.3%	
漁業集落排水事業	3億1,228万円	3億5,280万円	△11.5%	
公共下水道事業	15億8,234万円	14億3,249万円	10.5%	
特別会計合計	75億6,260万円	70億1,166万円	7.9%	
一般・特別会計合計	326億9,620万円	289億8,466万円	12.8%	
水道事業会計	収益的収入	8億3,539万円	7億4,835万円	11.6%
	収益的支出	9億5,348万円	8億4,609万円	12.7%
	資本的収入	7億2,399万円	2億3,861万円	303.4%
	資本的支出	9億2,428万円	4億2,774万円	216.1%

等購入助成事業（介護事業所への発電機購入助成、1/3補助、25万円限度） 250万円

○中小企業災害復旧資金保証料等補助金（災害により事業活動に支障が生じている中小企業に対する利子・保証料の補給） 2085万5千円

○生活再建住宅支援事業補助金（東日本大震災被災者への住宅融資に対する利子補給等） 1700万円

## 一般会計予算 251億3,360万円



歴史と文化のほりおこしを

市長―他に誇れる漁村文化を伝えたい

【問】海女の歴史を文献により参照すると、大槌吉里吉里の豪商前川家の文書で、海士は男衆でオランダ、中国に三陸産俵詰め干しアワビが長崎を経て中国に輸出され、当時の一大産業であった。野田小袖浦潜水士14人が大槌に仕事の為に到着。と記されている史実を精査しながら、漁村文化を保存し、希少な財産を後世に伝え、観光資源としての整備を図るべきと思うが。

【答】朝の連続テレビ小説「あまちゃん」支援推進協議会を中心としながら、おもてなしの心を持った受け入れ態勢の整備を図っている。

【問】三陸北縦貫道路の宇部上長内のインターチェンジは、片方向ハーフィンター構造と聞かすが、緊急事態や被災時、将来の安心、安全な街づくりを展望すると、北側にも南側にも乗り降りのできる双方向の構造にすべきと思うが。

【答】パブリックコメントなど、これまでの経緯や、片方向とすることで従来の双方向と比較し、設置間隔を短く設定することで、より利便性や防災性等を高め、早期復興に寄与しようとする国の方針に理解を示している。

【問】宇部地域の他に誇れる漁村文化や自然景観を観光資源として有効活用するために、北限の海女の活動拠点である小袖海女センターの再建を中心に鋭意取り組んでいく。

【問】久慈市は戦国時代の敗者ゆえ、歴史遺産由来の遺品文献がないと言われてきたが、1494年頃の藩政時代の平山城郭、夏井館はどのような史跡であったか。また、久慈城の築城年号等の基礎的調査資料が整備されているか。

【答】夏井館跡は夏井町夏井の大宮神社が鎮座している場



夏井町の大宮神社

心街にあったJR大船渡線は被災し、撤去後のバス高速輸送専用道路や一般道路との接続状況に取り組む駅前再建の状況を視察したが、当市の中心市街地活性化事業第2期計画に向けた進捗状況を問う。

【問】久慈市は戦国時代の敗者ゆえ、歴史遺産由来の遺品文献がないと言われてきたが、1494年頃の藩政時代の平山城郭、夏井館はどのような史跡であったか。また、久慈城の築城年号等の基礎的調査資料が整備されているか。

【答】夏井館跡は夏井町夏井の大宮神社が鎮座している場

● 一般質問

津波遡上高の調査取り組みを

市長―岩手大学と共同調査しており、取りまとめ段階である

【問】復興計画プロジェクト「災害に強いまちづくりを進める」の取り組みに、地区ごとの被害状況や、津波遡上高などの調査記録に努める必要があるが、その取り組み状況について問う。

【問】久慈風力発電プロジェクト「久慈風力発電プロジェクト」において、採算性の確保に向け一定の目途がつかず、事業化に大きな弾みがついたものと捉えている。今後、この調査結果をもとに、関係機関、団体と連携しながら積極的に誘致活動を進めていきたい。また、当市の有する再生可能エネルギーのポテンシャルを広く発信し、発電事業者の誘致に結びつけたい。



慈光寺脇の沢川

【問】大雨時に、慈光寺脇を流れる沢川が流木、木の葉等でせき止められる現状があるが、雨水排水対策について問う。

【問】市内中学校の生徒減少に伴う部活動のあり方について問う。

【問】市内中学校では、部員数の減少等により、大会参加も難しくなっている部活動も出ている。各校には独自に定めた部活動に関する取り決めや、生徒、教職員、保護者等との話し合いにより、できる限り子供たちの希望に沿う方向で対応するよう指導しているところである。

【問】復興まちづくり子ども会議の提言は貴重な意見として今後の復興、まちづくりに役立てる。若いボランティアグループとの意見交換を行う予定でもあり、さらに厚みを増すよう努力する。

◆泉川 博明 議員

風力発電事業化の可能性は

【問】風力発電の可能性調査の結果、発電可能な風力が観測されたことが報告され、事業性が見えてきたが、市として地域の産業の力にもなりうるよう事業化に向け力を尽くしてほしい。

【答】風況調査の結果などから、買い取り単価が現状程度であれば採算性が見込まれるとの報告があった。

早期に事業化できるよう関係機関などと連携し、発電事業者の誘致に向け取り組む。

◆木ノ下 祐治 議員

国道281号の活用方法は

【問】国道281号案内付近に新設されるトンネル完成後、

駐車帯がある旧道を観光などに利用できると思うが活用方法は。

【答】旧道の管理形態については、測量設計を踏まえ、今後県との協議が予定されている。安全性の確保や駐車帯などの利便性を損なうことなく景観を利用できるように協議したい。

【その他の質問】木質バイオマスについて

◆澤里 富雄 議員

予算増大を適正執行できるか

【問】過去最高となる予算で、復旧復興に関わりマンパワー不足が懸念されるが、適正執行が行われるのか。また、人員不足から職員の超過勤務による健康管理などの対策は。

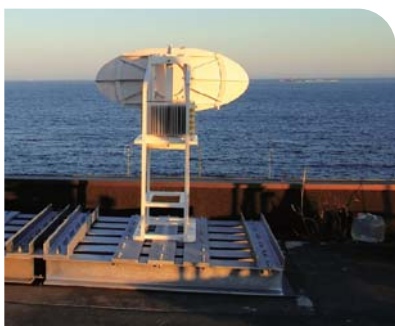
【答】昨年度の繰り越しも含めると、300億円を超える大予算になり適正執行が懸念されるが、技術者の兼務化や国・県と連携し適正な執行に努める。超過勤務については職員の流動的な配置を行い、医療機関とも連携をとり健康に留意しながら対応する。

# 波力発電実験計画の進捗状況は

## 市長―実証候補海域として2カ所が絞り込まれた

【問】 東京大学が中心となり5年計画で実施される波力発電実験計画の進捗状況は。

【答】 24年度は、海底地形調査や配電線の状況調査を行い、候補地を半崎地区と玉の脇地区の2カ所に絞り込みを行ったところである。実証海域の詳細は今年秋ごろに最終決定したいとのことであり、25年度は実証用設備の設計を行うと伺っている。



波浪観測用レーダー

【問】 健康維持増進のため、口腔保健条例制定の考えは。

【答】 口腔の健康は、心身ともに健やかで豊かな人生を送るうえで重要であると認識している。久慈歯科医師会の協力のもと、歯周病予防や8020運動など、歯科保健事業に取り組んでいる。国では、平成23年8月に歯科口腔保健法を制定し、県でも3月議会に条例制定が提案されたと伺っている。条例制定により、広く予防啓発が期待されることから、今後検討していきたい。

【問】 老朽化している防犯灯のLED化の取り組みは。

【答】 本年1月末現在、市内の防犯灯3963灯のうち、237灯がLEDで、普及率は6%である。一般的に使用

されている防犯灯40ワットの水銀灯と明るさが同程度の10ワットのLED灯を比較した場合、消費電力、CO2排出量ともに83%の削減が見込まれることから、LED灯設置の補助率を高めるなど一層の普及促進を図っていきたい。

【問】 ILC北上山地誘致活動への当市の積極的参加の考えは。

【答】 ILCとは、硬い岩盤の地下に設ける約30kmのトンネルで、加速させた電子と陽電子を衝突させ、誕生直後の宇宙を再現する、世界に1カ所建設される大規模研究施設と伺っている。国内の候補地である北上山地に誘致するため、東北の産学官が一体となって誘致活動を展開している。誘致されれば、震災復興と再

【その他の質問項目】  
夢ネット活用策 ほか

## 政和会

◆砂川 利男 議員

歴史と文化の展望を

【問】 久慈城平山城を三次元コンピュータグラフィックを駆使する手法で、城の復元を図るべきと思うが。

【答】 コンピュータグラフィックを駆使すべきとの提言だが、復元するにも調査、あるいは復元する元となるもの

が無い。復元の方法はいろいろあると思うが、いろいろな手法をこれから検討し、コンピュータグラフィックも復元の一つの方法として今後検討してまいりたい。

◆小倉 建一 議員

戸別受信機で難聴の解消を

【問】 防災無線は現在デジタル化を進めているが、市内でも聞えないとの話もある。戸別受信機設置希望への対応は。

【答】 電搬調査を実施し、難聴世帯は150〜160世帯と捉えている。解消策として一世帯あたり戸別受信機で6万円、電波状態が悪いところだと21万円程度かかる。屋外については全部カバーしなればならないと考えており、市の方針とすれば屋外の受信が基本であると考えている。

◆濱欠 明宏 議員

成人式における市長発言

【問】 市長が「釜石の奇跡」という言葉に市長自身が違和感を持っているということだが、いかなる違和感か。

【答】 3・11東日本大震災発

# 被災者の住宅再建に支援策を

## 市長―特別交付税を財源に新たな支援策を早期に創設する



市内の仮設住宅

【問】 生活保護受給者からの国保税徴収や生活保護費の差

【問】 3・11大地震大津波で自宅等の被災者は220世帯625人で、応急仮設住宅及びびみなし仮設住宅に住んでいる被災者は89世帯229名である。復興にとって第一に必要なのは住宅の確保だ。市独自の施策として震災復興特別交付税を活用し、支援策を講ずるべきと思うが。

【答】 住宅ローンへの利子補給など市独自の支援制度に加え、震災復興特別交付税を財源とする住宅再建に向けた新たな支援策を早期に創設する。

し抑さえは、生活保護法上で禁止をされていると思うが、どうなっているか。また、大田市では滞納処分をする生活保護を受けなければ生活を維持できない状態になるおそれがある場合、滞納処分の停止条件となる旨の通知をそれぞれ出す。それは厚労省の見解と同じだ。その点、市ではどうか。

【答】 生活保護受給者からの徴収は、国民健康保険法の適用除外となるため、生活保護受給期間内の課税は発生しない。また、生活保護受給以前

## ごみ焼却施設は 現施設の改修で

【問】 岩手北部広域環境組合の新たな試算は、4つのメーカーから聞き取り、4で割り算したもので、誠意も熱意も感じられず、検証に値しない。現施設を改修すれば10年間は使用できるので、現施設を改修することを重要な選択肢としてどうか。

【答】 集約新設、分散新設、現施設の改修の3つの方法があるが、どの選択をすれば住民の負担が少なく、資源循環型社会形成に貢献していきたいのか真剣に検討していきたい。

◆中平 浩志 議員

限界集落等の買物難民対策を

【問】 限界集落の増加や高齢のため運転免許未更新により、近隣で買物ができない買物難民が増えているが、民間の力を借りるなどして交通の利便性向上や移動販売車の増加などの対応策を。

【答】 要介護者の買物支援、いわて生活協同組合による宅配サービスが行われているほか、安心サポート事業による買物代行サービスの周知や市民バスの利便性の向上などに努め、民間事業者による移動販売などの対策も考えていく。

### 介護予防教室の成果と今後の取り組みは

市長—一定の効果があり、さらに充実して実施したい

【問】毎年、介護予防教室を行っているが、参加者が固定化されていると思う。そこで、成果をどのように捉えているか。また、25年度の介護予防の取り組み方は。

【答】介護予防教室について、特定高齢者事業は99回、延べ1359人、一般高齢者事業は98回、延べ1942人が参加して開催した。効果は、参加者の身体的機能の改善や、



山根地区デイサービスセンター

主観的健康観の向上が見られたところであり、25年度も事業を継続するほか、新たに山根地区デイサービスセンターでの予防教室を開催するなど、高齢者が参加しやすいように、ふれあいサロンなどの交流の場も有効に活用していきたい。

【問】学区外通学の実態はどうなっているのか。また、少子化の影響などで、中学校で団体競技のクラブ活動ができない学校も出てきているが、支援策をどのように考えているか。

【答】通学区域は徒歩で通学できる距離を基本に設定しているが、保護者の申し立てにより教育委員会が相当と認めるときは学校の変更を許可しており、平成24年4月現在では、147人が学区外に就学している。また、中学校のクラブ活動については、各学校が独自で定めている部活動の取り決めや、できるだけ子供たちの希望に沿う方向で対応するよう指導しており、他校との合同チームを編成して大会に参加できるようにするなど対応していきたい。

【問】平成25年度の緊急雇用対策事業は昨年度に比べ大幅に削減されているが、緊急雇用対策事業への取り組み方はどうなっているか。

【答】平成24年度は211人を雇用したが、25年度は57人となっている。県から追加配分があり次第、予算計上し早期の雇用創出に努めたい。

#### 【その他の質問項目】

新公会計制度について／防潮堤や河川堤防のかさ上げについて、ほか

#### 創政会

生時にいかなる状況下にあっても日頃の訓練を生かし、子供たちはしっかり避難しており、奇跡ではないと思う。大切なことは冷静に分析をして次なる災害に備えることだと考えるため、「釜石の奇跡」という言葉に違和感を覚えるものである。

◆藤島 文男 議員

小・中学校のトイレ水洗化

【問】大川目小・中学校のトイレ水洗化に向けた取り組みについて問う。

【答】大川目小学校については国の補正予算を活用し平成25年度に整備を行い、大川目中学校については整備済みであるが、和式トイレの洋式化が必要であると認識している。

◆桑田 鉄男 議員

復旧・復興について

【問】東日本大震災による経験、体験を後世に伝える義務策について、ほか

#### 清風会

◆畑中 勇吉 議員

災害対策本部の見直しは

【問】津波の浸水区域内にある市役所に設置されている、災害対策本部場所を見直す考えは。

また、久慈湊地区などの被災地で建築基準法適用の建築規制を加える復興交付金事業申請ができなかったのか。

【答】不測の事態を想定し、災害対策移動本部などの訓練実施を検討中である。また、被災住宅の集団移転事業は2方法あったが、久慈市は防災集団移転事業の要件を満たすことができず、防災機能強化事業を活用した。

◆堀崎 松男 議員

津波避難路整備の考えは

【問】通行中、津波で犠牲者が出た県道野田長内線の避難路整備は。

【答】海岸通りの県道のため、昔の生活道、集落道を歩くなど土木、水産両方面の事業導入の可能性について調査したが、同ルートは地形が急峻であるため、現在検討中である。

◆高屋敷 英則 議員

夢ネットでの光エリア拡大は

【問】市で敷設した夢ネット

があると思うが、具体的取り組みは。

【答】これまでの記録集、撮影したDVD、災害本部会議の議事録などは全て保管している。またモニタリングなどの必要性については今後検討していきたい。

【その他の質問】生徒減少に伴う部活動のあり方

◆下館 祥二 議員

再生可能エネルギーについて

【問】再生可能エネルギーに取得する場合、立地場所に高圧線が通っているかどうか条件のひとつと考えられるが、国などへの働きかけは。

【答】再生可能エネルギーを進めるうえで重要な視点であると認識しており、県市長会や三陸沿岸都市会議において送電網の整備について、国や事業者に要望することに決定している。

#### 日本共産党久慈市議員団

◆城内 仲悦 議員

被災者の住宅再建支援策は

【問】震災復興特別交付税を活用して新しい支援策を考えると、ぜひ使い勝手のよいものにしてほしい、いつ頃を目途につくろうとしているのか。

【答】24年度内に補正予算計上し、新年度にはすぐ活用できる状態で臨みたいが、制度の中身を充実させる検討時間が必要である。

【その他の質問】生活保護ほか

## ● 一般質問

### 野鳥の生息に配慮した「市民の森」の整備計画は

市長—市民の意見を取り入れ、調和のとれた環境整備を図っていききたい



整備が進む市民の森

【問】市街地から離れた地域

【問】「市民の森」の整備が進み、森林内の見晴らしが良くなった、と好意的に受け止める人がいる一方、下草や小さい木が刈り取られたため「小鳥の声が近くで聞こえなくなった」という声を聞く。野鳥の生息状況は。

また、整備をする時に野鳥や昆虫、植物に詳しい人や森林管理署の意見を聞きながら計画する考えは。

【答】ウグイスやオオルリなど多くの野鳥が生息していることは確認しているが、正確な生息状況は捉えていない。野鳥や昆虫などに配慮し、関係者の意見を聞きながら進めていきたい。

では日常生活でも不便なことが多い。市内どこに住んでいても、高齢になっても不安を感じることもなく、住み慣れた地域で生きがいを持って住み続けるには、近隣の助け合いのほかには行政の積極的支援が欠かせない。

公共交通対策、除雪支援、生活支援ハウスの建設計画は。

【答】公共交通は、通院・通学優先で考えるが、土日運休路線でのデマンドバス運行については、平成26年の計画策定の時に検討したい。

除雪支援は社会福祉協議会の安心サポート事業がある。周知や啓発をしていく。町内会等で除雪機を購入するときにはコミュニティ助成事業により支援してきている。生活支援ハウスは山形町にあるが、待機者がいないので建設の考えはない。

#### 【その他の質問項目】

25年度の重点施策／高校生の通学支援バス／ごみ焼却炉建設／男女共同参画／ガソリンスタンドの廃業／歩道の除雪／特別支援教育支援員の配置

# 意見書

- 消費税増税に反対する意見書
- 環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)交渉参加に反対する意見書

## 内閣総理大臣ほか関係大臣等へ提出

### 傍聴席からひとこと

#### 「市議会を傍聴して」

砂子一治さん  
久慈市大川目町



私は確定申告のため市役所を訪れた際に、3月定例会の一般質問がある事を知り、以前から興味があったため傍聴いたしました。

市役所の職員に場所を聞きながら傍聴席に到着し、入口で名簿に名前を記入し、席に着きました。

議場では、議員が市長に対し、一般質問をしており、入念に調

査された質問内容を、時間を十分に使って質問しており、素晴らしいと感じました。またTPP交渉参加に反対する意見書を提出したとのことで、農業を営む者にとっても高く評価できます。今回、傍聴してみても感じたことは、傍聴席にいと声が届くこと、ヤホンが付いていると、より聞きやすくなると思います。また、議場や傍聴席の入口に守衛を配置するべきだと思います。市の方向性を決定する場としては、少し無防備かなと感じました。

私の住んでいる地域は、防災行政無線が聞き取りにくいので、無線環境の整備を要望したいです。時間の都合上、2人の一般質問しか傍聴できなかったため、次回は全日程を傍聴してみたいと思いました。

3月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

#### 消費税増税に反対する意見書

【概要】  
今年本格的な復興の年として、復興計画を着実に進捗させる年となっております。その実現のため県内全市町村が復興を迅速に進めるための制度設計などを国に求め、復興への歩みの環境づくりを行ってまいりました。

政府はまず「税制の抜本改革」、「行財政改革」を進めるべきであり、国民の経済状況が改善されていない中での増税は、国民生活と経済活動に大きなマイナスの影響を与えかねません。

よって、国は消費税の増税及び関連法案について十分な議論を尽くし、震災からの復興の進捗状況を見極める必要があることから、消費税増税を行わないよう強く要望するものです。

#### 環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)交渉参加に反対する意見書

【概要】

安倍首相は先の日米首脳会議で「聖域なき関税撤廃が前提ではないことが明確になった」として、TPP交渉参加を正式表明しました。

TPPは物品の例外なき関税撤廃が前提となる協定であり、交渉参加を進めようとする政府に対し、農業生産現場では大きな不安を抱いてます。農林水産省の試算によると、食料自給率の低下、農業生産額及び雇用人数の減少が見込まれ、わが国の農林水産業や地域経済は壊滅的な打撃を受けることとなります。

さらに、医療、保険、公共工事などの日本の制度が、アメリカ型に変えられる危険性もはらんでおり、「交渉に参加しながら守るべき国益は守る」とした考え方は、TPP交渉の厳しい側面を見ない一方的な見解です。

日本の「食」と「農」、そして「地域経済」を守る観点からTPP交渉への参加は行わないよう要望するものです。

### 編集後記

広報編集特別委員会

委員 山口健一

第10回定例会は、2月22日から3月18日までの25日間開催されました。

東日本大震災から2年が経過しましたが、復旧・復興が始まったばかりです。

そのような中、昨年12月に衆議院議員選挙が行われ、政権が交代しました。本年度は復旧・復興加速年と位置付けられており、復旧・復興が進むものと期待しております。

今定例会は、東日本大震災からのさらなる復旧・復興や、4月1日から始まるNHKの連続テレビ小説「あまちゃん」をきっかけにした、観光振興や中心市街地の活性化、自然エネルギー政策などが活発に議論されたところであり、大変厳しい社会情勢の中、行政に求められていることは多種多様に渡っていると思います。お互いに知恵を出し合い市民満足度向上のため、市民皆様方の意見を聞きながら、さらなる改革に取り組んでいかなければならないと思っています。



再生紙と大豆インクを使用しています